

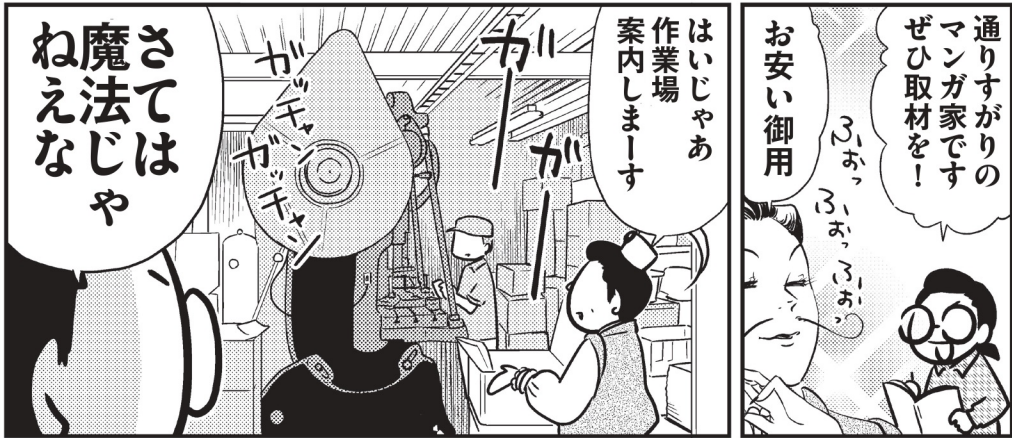


我こそは
おもちゃの魔人

自慢の魔法を
紹介しよう

1枚のブリキ板が
これこの通り

あっという間に
おもちゃへと
早変わり!



さては
魔法じゃ
ねえな

はいじゃあ
作業場
案内しまーす

おあい御用

通りすがりの
マンガ家です
ぜひ取材を!

『ブリキ玩具』株式会社丸彰

作:上島カンナ

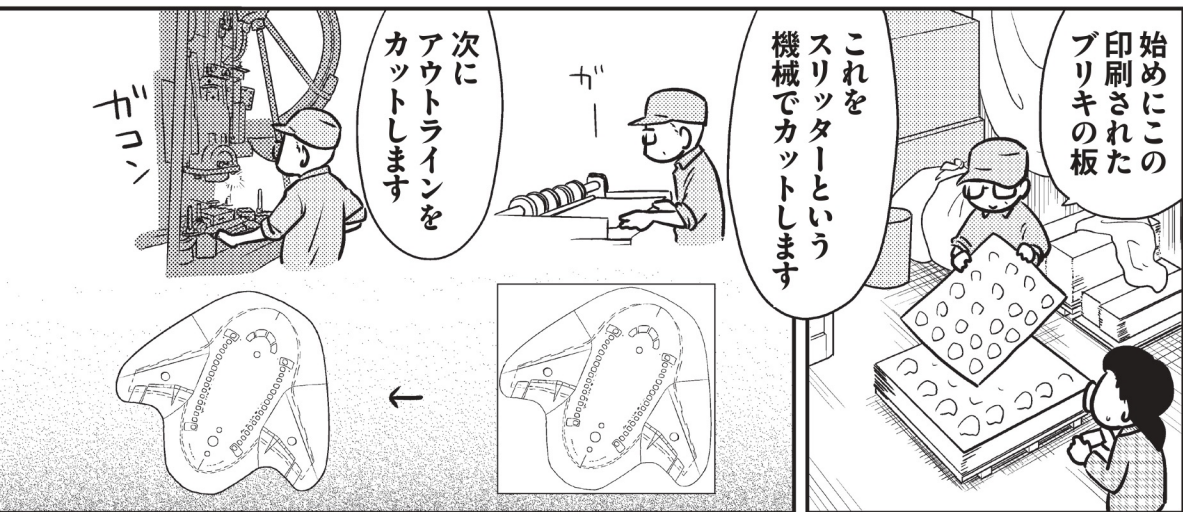


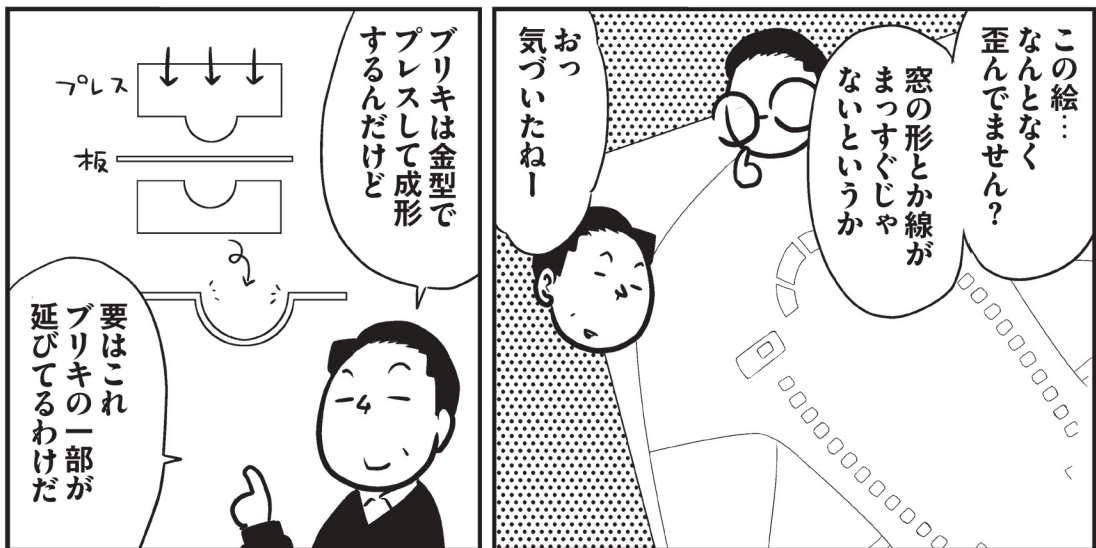
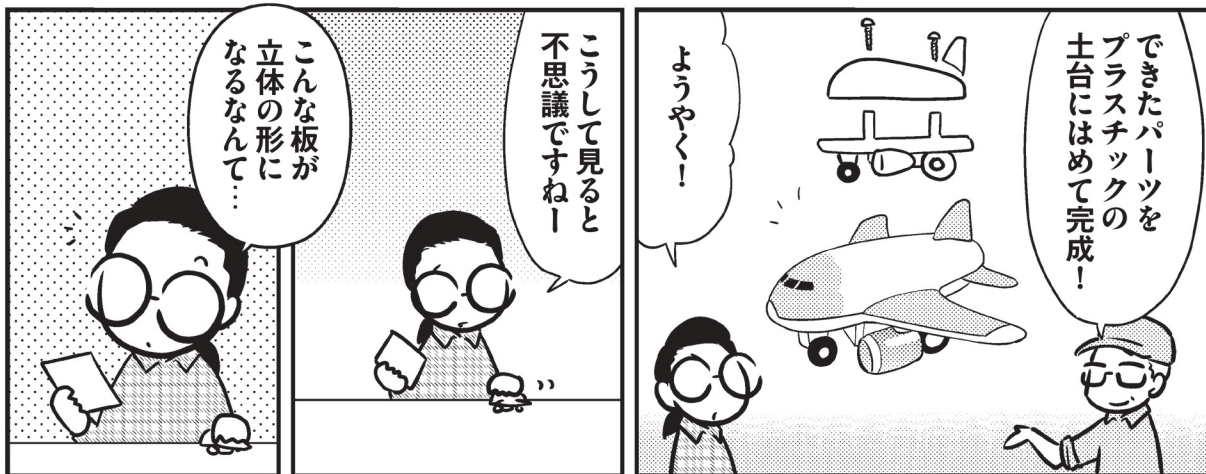
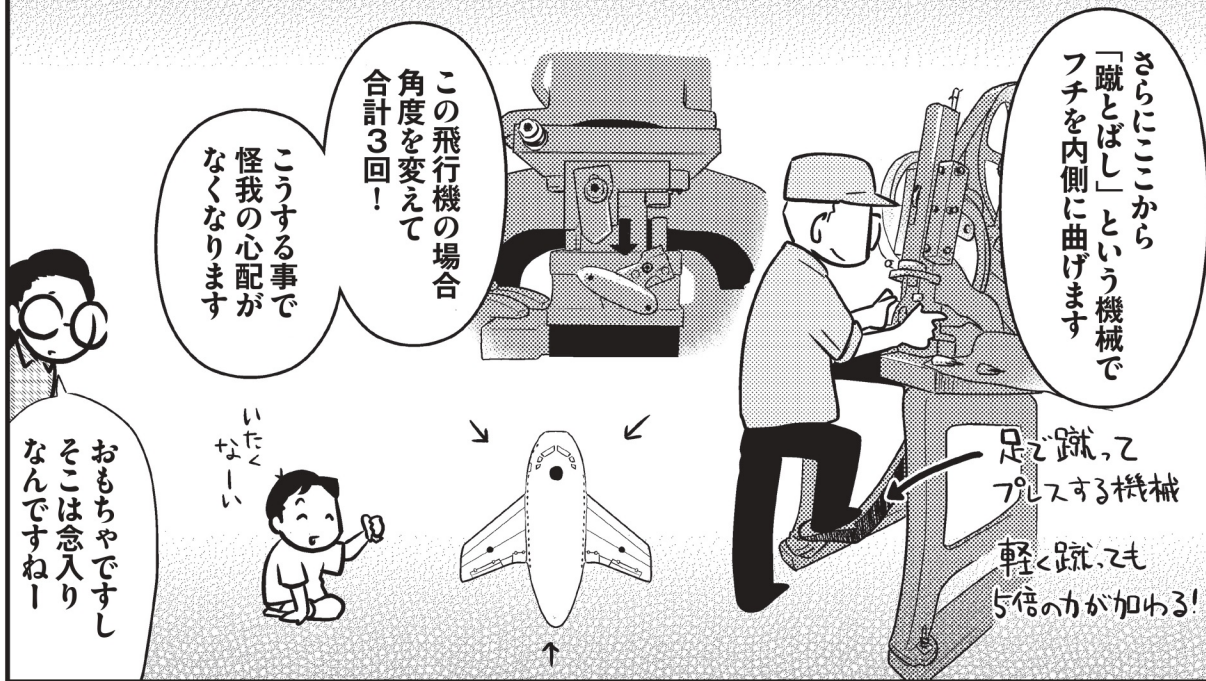
マンガ家
上島カンナ

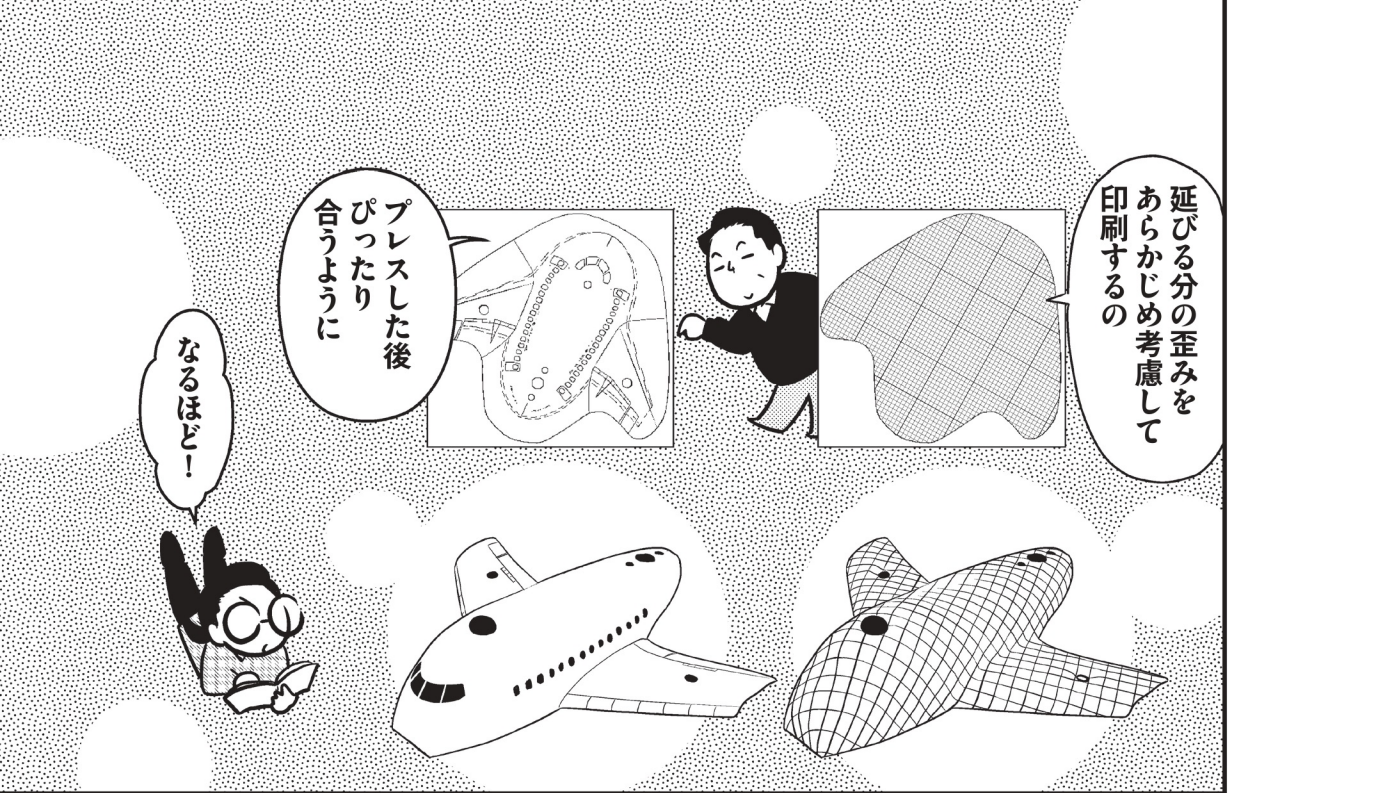
無茶ぶりした
マンガ家だよ

魔人
じゃないよ
専務取締役だよ

株式会社丸彰
増田幸央







延びる分の歪みを
あらかじめ考慮して
印刷するの

プレスした後
ぴったり
合うように

なるほど！



昔は絵師さんが
立体に直接描いて
展開した絵を
元絵にしたんだって

今はその辺を
デジタルで
やってるけどね

じゃあ便利に
なったんですね

ところが
修正は昔の方が
ずっと早かった

あれ、文字
歪んだな
じゃあ少し
内側に寄せるか

1、2回の修正で
完璧な元絵が
できたんだよ



デジタルだと
「職人の勘」みたいな
要素がないんだよ

んーと
どの数値だ
いったん
出かしておよう

試作する回数は
ずっと多いねー

その分コストが
かかるけど
仕方ないよね

だって嫌じゃない？
窓とか文字が
歪んでるなんてさ

たしかに

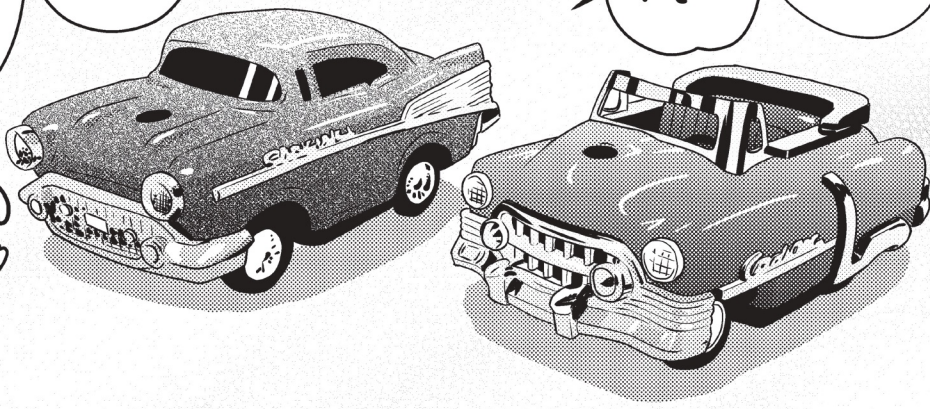


昔ブリキで作った
ライターなんだけど
全然古くないでしょ

めっちゃ
ピカピカで
カラフル!

プラスチックの
部分は年数経つと
変色するんだけど

ブリキは全然
色あせない
そこがいいじゃない



今ブリキのおもちゃを
作ってる会社って
ウチだけになっちゃった

だからなおさら
妥協はできないよね

おもちゃって
感覚で楽しむ
ものじゃない?

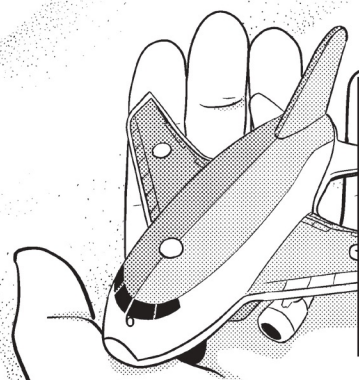
だから手に
取ったらわかるよ
説明いらぬもの



1 確かに

ただの
おもちゃの
はずなのに

どこか
懐かしいような
温かいような



もしかしたら
本当に魔法なの
かもしれない

